

**雑感～休業中に考えたこと～**

新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けて、学校休業になって5日目。非常事態であることへの理解、手洗い・マスク着用・外出の自粛等、自分の命はもちろん、他の人の命も含めて、「命」を守る行動を取ることを求めてきました。子ども達の様子はいかがでしょうか。また、保護者の皆様の「心」と「体」の健康は保たれているのでしょうか。とても、心配しています。



しかし、心配するだけでは何も変わりません。そこで、学校では、現在のできることに限られた状況の中でも、子ども達の命を守ることを最優先事項としながら、「学校ができることはなんでもやる」「思いついたらすぐに行動にうつす」ことを常に念頭に置いて、HP上の校長メッセージ動画の配信・学校の取り組みの紹介、消毒、課題配布時の超短時間での顔合わせ等、活動しているつもりです。

「これまでこんなふうに来てきた」「例年だと・・・」という経験値が役に立たない状況の中ですが、これまで考えもしなかった、全く新たな発想・取り組みを生み出す契機と捉え、前向きに取り組んでいきたいと思えます。

今回の学校だよりでは、この新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による学校休業によって私自身が考えたこと・あらためて気づかされたことなどを書かせていただきます。

学校の役割

なんといっても子どもの「命」を守ること、守り通すことであることをあらためて感じていました。そして、「命」に関わることに限らず、これまで以上に十分に注意を払わなければならないと思っています。同時に「学びの保障」「生活習慣・生活リズムの確立」も学校に課せられている役割だとあらためて感じています。学校という生活の場を通して学ぶことの楽しさを伝え、生活基盤を整えていくことは子どもの成長の土台であることをあらためて確認しました。そのためにも、学校は子ども達が「行きたくなる場所」でなくてはならないと思うのです。

**学校のよさ**

当たり前のことかもしれませんが、「集団であること」、「いろいろな人がいること」ではないかと思いました。家庭などの小集団では味わえない多様性を味わえる、味わわせることができるのが学校のよさではないかと思うのです。体格・性別・性格・考え方・運動能力・学習の理解・・・みんなが違うからこそ楽しいし、面白い、いろいろなことが起こる。「みんな違って、みんないい」をあらためて学校の基軸として子ども達に伝えていかなければと思いました。

柔軟な学び方への対応

今回の急な休業対応でも、学校は子ども達に直接、学習課題を提示したり、紙媒体としてプリントを配るといった対応となりました。もちろん、子どもの成長段階からみれば妥当な対応であると判断しています。しかしながら、いろいろなニュースを見ると、ネット上での課題の配布あり、ネット配信の講義あり、会議システムを取り入れて通常の授業のように教師と児童・児童同士の双方向性のやり取りを可能にした授業の提供ありと、時代はずいぶんと先に進んでいるという感がありました。教育界だけ時代に取り残されるということのないように「柔軟な学び」に向けて取り組んでいかなければと感じさせられました。もちろん、教育環境だけでなく、適切な支援のもと、自分で主体的に学習課題を見つけ、学習を進める学習方法などについても積極的に取り組んでいかなければと考えています。



学校への思いをつなぐ

子どもたちが家にいることは感染拡大防止、「命」の観点からみれば、とても重要で強く守るべき行動であることに疑いはありません。しかし、一方で長引けば長引くほど、子どもたちから「学校」が薄れてしまうのではないかとこの心配が頭から離れません。前述の学校の役割・よさとも通じますが、家にいることの「楽しさ」集団生活の「不自由さへの思い」が「学校の楽しさ・面白さ」を上回ってしまうのではという思いがわき上がることがあります。そこで、この学校休業期間中、少しでも「学校って面白いかも・・・」と思ってもらえればと思い、学校HPに校長メッセージ動画をのせ、「手品」をさせてもらうことにしました。ほんとに単純で、「こんなことで・・・」と思う方がいらっしゃるであろうことは十分承知していますが、「できることはなんでもやる」「思いついたらすぐ行動にうつす」の1つであり、少しでも子ども達の学校への思いをつなぐ手立てとしてご理解いただければと思います。

保護者の皆様にも、子どもたちとの会話の中に、是非、学校のことをたくさん取り入れていただき、子どもたちの学校への思いが薄れないようにしていただければ幸いです。

その他にも**家庭・地域の役割** **緊急時の速くて確実な情報伝達の在り方** 等々いろいろと考えることができました。保護者の皆様の考えなども聞かせていただければとも思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

■学校の今の様子■



「ソメイヨシノ」は随分と散ってきましたが、それに変わってたくさんの花が咲いてきました。

メダカの学校の水槽の中では、たくさんの生き物が活動を始めたようです。



校庭は、元気な北小の子どもたちを「今か今かと」静かに待っているようです。

保護者の皆様からの声をお待ちしています。

～学校に対するご意見・ご感想等、お気軽にお寄せください～

(または assist.nihonmatsukita-e@fcs.ed.jp まで)

----- 切り取り線 -----

